

さくらまつり 2024

3月24日、ここ数年小中学校の卒業式に満開という予想が外れて、開花前、桜一輪（引き馬コースの4番目の木）の下でのさくらまつり、しかし、予想だにしない程の成功でした。

前日までの雨模様の天気予報に落ち着かなかったのが嘘のように、朝から、風もない暖かな曇りという絶好の日和で、くらぶの売り上げ、フランク420本（当初の仕入れ300本に買い増し120本）、30分待ちの行列だった綿あめ200本、昔懐かしい風車110個、会場に彩りを添えてくれた花苗150超、協賛者ではバルーン300超、ポニーの人参あげ300超がさばけたとのことでした。出店してくれた福祉作業所は13時過ぎにフードコミュニティ目黒、ブレス学芸大、ワークイン翔の3店は完売、最後まで付き合ってくれたしいの実社も2時半ごろには焼き菓子類は完売、と用意した分に見合う実績でした。

今回のさくらまつりの狙いは、コロナ禍の影響で恐らく大きなダメージを受けたであろう福祉作業所の方々への応援と、子供たちへのお楽しみの提供でした。これで少し目的は果たせたかなと思います。

どんどん充実しているこどもばの遊びコーナー、遊びまわっている子らの多くが持っていた碑文谷風船団のバルーンアート、大人しい木当ての競技モルックには大勢の子供らが押し寄せ、大道芸のピロさんの周りには観客がいつも一杯。売り切れ続出の作業所が引き揚げた後、カポエイラのリズミカルな演奏と柔らかな武闘の演技が後半を盛り上げてくれました。時々、ノルディックウォーキングも参加してくれましたし、ポニーの引き馬もひっきりなしでした。自由広場では子供らが走り回り、野球場の少年野球、テニスはいつものように盛況でした。恐らく、ボートも混んでいたことでしょう。

売上等から見て、さくらまつりへの来場者は2000人は下らず、少年野球やテニスに興じる人たちまで含めれば、スポーツ公園には恐らくもっといたでしょう。去年の盆踊りの時も驚きましたが、親子連れの未就学児童の何と多いことか。そして納得しました。子供たちにとって、桜の花より、遊ぶ場が何よりも大切で、花見客が押し寄せてくる満開の時でなくとも、開花前での祭りでもやってよかったと。

朝9時少し過ぎからテント5張り（1張りは体育館から拝借）、机、椅子を用意し、看板を入口等に張り、公園くらぶの青と桜フェスティバルのピンクの幟をテントに立て、11時少し前に区長が様子見に現れ、11時頃からお祭りを開始、15時にお祭りを閉じて片付けを始め、16時に撤収完了。そして、何と当日17時半頃から雨。ついていました。天にも感謝です。

守衛さん、キーパーさん、2人ずつにお礼としてお弁当をお裾分けしました。ポニー広場で頑張ってくれていた若人たち9人に、フランク8本の差し入れ。くじ引きしなくちゃと嬉しそうでした。

模擬店の会場



2024年3月24日
碑文谷公園くらぶ

当日の様子



ポニーにニンジンあげ



綿あめづくり



ピロさんのパントマイム



碑文谷風船団のバルーンアート



こどもば主催のあそびコーナー



カポエイラの実演